

中期目標策定の基本的考え方

1. 教育中心の大学づくりと特色ある人づくり

- ・「大学全入時代」を間近に控え、県立三大学は、今後、厳しい競争的環境の中で創意工夫を凝らし、学生から選ばれる魅力ある大学とならなければならない。
- ・大学を選ぶにあたっての学生の関心は就職であり、企業等から求められる質の高い学生を育成しなければならない。
- ・中期目標においては、教育中心の大学づくりをすること、人づくりについての特色を打ち出すことを中心に置いた。
- ・職業人の育成を人づくりの基本とする。

①九州歯科大学

卒業生の9割が、地域の歯科保健医療の現場で活躍しており、歯科大が主として育成するのは、現場で医療に携わる歯科医師である。知識・技術にとどまらず、患者と円滑なコミュニケーションがとれる能力を身に付けた歯科医師を育成する。

②福岡女子大学

女子大は、女性の社会進出が進んでいる現状を踏まえ、リーダーシップを身に付け、社会の様々な分野で重要な役割を担うことができる優秀な女性を育成する。

③福岡県立大学

福祉系と看護系の2学部を擁するメリットを活かし、両学部の連携により、保健・医療・福祉の現場で、他の専門職と協働して活躍できる看護師や社会福祉士などの職業人を育成する。

2. 大学運営の基盤づくり

- ・県から独立して自ら経営を行っていかなければならない各大学が、教育を中心とした中期目標を達成することができるよう、大学運営の基盤を築くための、三大学共通の目標を与える。
- ①理事長のリーダーシップのもと、大学自らの責任と判断により、組織や財政の改善に取り組み、主体的・自律的な大学運営を確立させる。
- ②教員の個人業績評価、大学の自己点検・評価を厳正に実施し、評価結果が教育や大学運営の改善に繋がる仕組みを確立させる。